ツーリングモニタ取付説明書

Majesty編

目次

１．同梱物の確認　・・・・・・・・・・・・・・・　２
２．取付けに必要なもの　・・・・・・・・・・・・　２
３．取付けに関して　・・・・・・・・・・・・・・　２
４．外装部品の取外し　・・・・・・・・・・・・・　３
５．回路部本体の取付け　・・・・・・・・・・・・　１０
６．表示器の取付け　・・・・・・・・・・・・・・　１０
７．温度センサーの取付け　・・・・・・・・・・・　１１
８．電源コードの取付け　・・・・・・・・・・・・　１１
９．アースコードの取付け　・・・・・・・・・・・　１２
１０．エンジン点火信号コードの取付け　・・・・・　１２
１１．ウインカー信号コードの取付け　・・・・・・　１３
１２．スピードパルス信号コードの取付け　・・・・・　１３
１３．モード切替コードの取付け　・・・・・・・・・　１４
１４．ヘッドライトコントロールコードの取付け　・・　１５
１５．コントラストの調整　・・・・・・・・・・・・　１７

山形 紀樹

1. 同梱物の確認

送られてきたのもに不足がないか確認してください。
不足がありましたら恐れ入りますがメールにてご連絡ください。

①ツーリングモニタ本体基板（ボックス入り）
②表示部（ケーブル付き）
③温度センサ（ケーブル付き）
④コード1　電源・アース（赤・黒）
⑤コード2　各種信号（黄・黄延長・青・白・茶・緑）
⑥コード3　ヘッドライトコントロール・4Pコネクタ付き（桃・水色）
⑦コード4　ヘッドライトコントロール非常点灯スイッチ（桃・水色）
⑧コードを挟んで接続する部品　エンジン点火信号用とウインカー信号用の2個
⑨ギボシセット　モード切替信号取り出し用1組
⑩液晶表示器取付金具（おまけ）
⑪ツーリングモニタ取扱説明書
⑫ツーリングモニタ取付説明書（この冊子）
⑬配線加工場所図(回路図)

2. 取付けに必要なもの

①両面テープ
　回路部本体と表示部・ヘッドライトコントロール非常点灯用スイッチの取付に使用。なるべく強力、かつ、跡が残らないもの。
②結束バンド　少々
　配線を束ねるのに使用。
③工具
　外装部品を取外すために一般的な工具が必要となります。

3. 取付けに関して

1. ヘッドライトコントロールとウインカーブザーはお好みによって、機能させないこともできます。
　その場合はそれぞれのコードを接続せず、絶縁して束ねておいてください。
2. モード切替スイッチはセルスタータスイッチと兼用させないこともできます。
　その場合はアースに落ちるスイッチを取付け、これに緑のコード接続してください。
　この場合、茶色のコードは接続不要です。

4．外装部品の取外し

①フロントライトアッパーカバーの取外し

① フロントライトアッパーカバーをとめている写真のネジ左右2本を六角レンチで取外します。

② フロントライトアッパーカバーを写真のように斜め上方に引き上げるてから手前に引くと、カバーを外すことができます。

②ウインドスクリーンの取外し

① ウインドスクリーンドを止めているプラスチックネジ7本を外すとウインドスクリーンを取り外すことができます。

② 写真のネジ、左右2本を取り外すと、インナーパネルを取り外すことができます。

③メーターパネルの取外し

① メーターパネル取付ネジ左右2本を取り外します。

② 左側ボックス内のネジ2本を六角レンチで外します。

③ 右側ボックス内のネジ2本も六角レンチで取り外します。

④ メーターパネルへのカプラを外すと、メーターパネルが取り外せます。すこし、ハンドルカバーと干渉しますが、少しずつ丁寧に傷を付けないように外してください。ハンドルカバーを取り外した方が作業はやりやすいと思いますが、面倒なので外しませんでした。

④サイドカバーの取り外し

① ここからの作業はエンジン点火信号を取り出すため、イグニッションコイルにたどり着くための作業です。多くの部品を外さなければならないのですが、それでもこの作業が一番楽だと思います。大変ですが、頑張ってください。
まず、タンデムシートの取り外しです。写真の袋ナット左右2個を取り外すとタンデムシートが取り外せます。

② スタンディングハンドルを取り外します。まず、写真のネジにはキャップが被せてあるので、それを外した後、六角レンチで取付ネジ4本を外します。

③ サイドカバー取付ネジを取り外します。写真矢印のネジを六角レンチで取り外します。左右合計4本あります。

④ タンデムステップ上部にあるキャップを下側からマイナスドライバーを差し込んで左右とも取り外します。

⑤　キャップを外すと内部にプラスネジが見えるので、左右とも取り外します。

⑥　これで、サイドカバーがやや開くので、開いた状態で出てくる写真のネジをプラスドライバーで左右とも取り外します。本来なら、テールランプ下のカバーを外しサイドカバーを外すのですが、このネジ1本外すだけなので少し大着しています。

⑦　収納スペース内のフェルト内敷きを外すと、メイントランクを取り付けている写真のネジが現れてくるので、左右合計8本を取り外します。

⑧　前部にもあります。

⑨　シートロック金具を取り付けているネジ片側2本合計4本を取り外します。

⑩　給油口のフィラーカバーを取り付けているネジ2本を取り外します。ネジを取り外すと内側のカバーが上に引き上げられるようになります。そのとき、給油口キャップを取り外す必要があります。火気には十分ご注意ください。

⑪　給油口のフィラーカバーを取り外すと内部にシートの開閉ダンパーが見えるので、取り付けてあるピンをペンチで引き上げ、取り外します。ピンを取り外したら、ダンパーを左にずらして、取付軸から抜きます。このとき、シートを上げてダンパーが伸びた状態にすると力がかからず楽に抜けます。

⑫　シートを取り外します。シート裏のシート位置調整用ネジ4本を取り外すとシートが取り外せます。

⑬　シート下のカバーを外します。写真矢印の4本のネジを外すと取り外すことができます。

⑭　シート台を取り付けているピンを抜きます。

⑮　シートを開けたときにランプが点灯しますが、そのスイッチのカプラーを外します。

⑯　写真矢印のところに収納スペース照明ランプのコネクターがありますので、取り外します。以上でシート下のメイントランクがようやく取り外せます。ご苦労様でした。

⑰　写真矢印の場所が点火コイルです。車体右側にあります。1本の配線のためにこんなに分解しなくてはなりません。
　コードの取付けについては、10.の項で説明します。

5．回路部本体の取付け

① スクリーン内部に回路部本体を収納するのにちょうどよい平らな部分があるので、そこに両面テープを使い貼り付けます。

6．表示器の取付け

① ここでは液晶表示器取付位置の一例としてメーターパネル上部に取付ける場合を説明します。
この位置に表示器を取り付けるにはおまけとしてお付けしたL型に加工した液晶表示器取付金具をご利用ください。
もちろん、この場所以外でも見やすい場所であればどこに取付けても問題ありませんので、工夫してみてください。
ケーブルはメーターパネルとインナーパネルの間を通すことができます。
写真は液晶表示部をマジックテープにて取り外し可能にした様子ですが、両面テープで固定しても問題ないでしょう。

{ご注意}
表示器の10Pコネクターを基板に取付ける場合は、向きに注意し（溝を確認してください。）、しっかり奥まで差込んでください。はずす場合は、コネクターが非常にきつい上にコードが細いので、小さなドライバーなどでコネクターの両脇を少しずつこじって出すようにし、コードに無理な力がかからないようにしてください。くれぐれも、コードを持って引っ張らないようにお願いします。

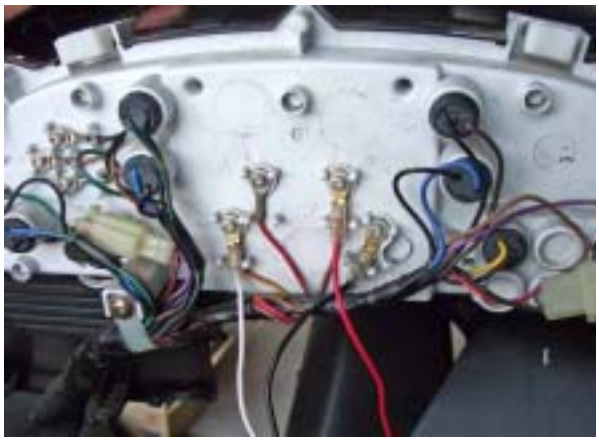
7．温度計センサーの取付け

① 気温用温度センサーは完全防水であるので、どこに取付けても支障ありませんが、直射日光の当たらない風通しのよいところに取付けてください。ラジエターの熱気も影響するので、なるべく前方のカウルの下あたりが適当です。
写真はホーンのコードに結束バンドを使い取り付けたところです。

8．電源コード（赤）の取付

回路図の番号①

① 電源コード（赤）はメインスイッチをオンにしたときに＋12Vになるコードに接続します。
一例としてメーターパネル裏側のターミナルからとる場合を説明します。電源コードにはこのターミナルから電源を取るように端子が取り付けてあります。
メーターパネル裏側の茶色コードが出ているターミナル（写真のドライバーが刺さっている場所）、これが電源ターミナルです。このターミナルのビスを緩めて、ツーリングモニタの電源コードに取り付けられている端子を取り付け接続してください。取り付けると、下の写真のようになります。この写真は後から説明する、アース、スピードパルスコードも取り付けたものです。なお、ビスを締め付けるときにはあまり力を入れるとネジが馬鹿になりやすいので気をつけてください。
取付の際、電源コードにはヒューズを付けておくとなお安心です。付けないで、過電流が流れた場合はMajestyのシグナル系のヒューズが切れます。私は付けていませんが、今のところトラブルはありません。

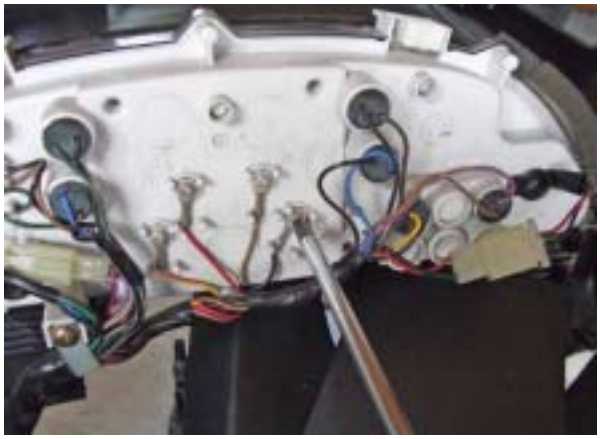


9．アースコード（黒）の取付

回路図の番号②

① アースコード（黒）も例としてメーターパネル裏側のターミナルからアースをとる場合を説明します。

メーターパネル裏側の黒色コードが出ているターミナルがアースのターミナルです。（写真のドライバーが刺さっているところ）このターミナルに電源コードと同じ要領でツーリングモニタのアースコード（黒）を接続してください。



10．エンジン点火信号コード（黄）の取付け

回路図の番号③

① 写真が点火コイルです。手前に見えているオレンジ色のコードが一次側です。このコードとツーリングモニタの黄色のコードを接続します。

② 写真のように付属のコード挟み込み接続部品を使って信号を取り出します。このあと、ビニールテープでしっかり巻いておいた方が良いでしょう。はずれると、またここまでばらさないといけなくなります。できれば、オレンジ色のコードの被覆を1cm位きれいに剥いて、そこに半田付けで接続し、自己溶着テープで仕上げ、ビニールテープで保護するのがベストです。コードは他のワイヤーなどに沿わせ、ツーリングモニタ本体まで配線します。所々、結束バンドで止めておいてください。

11. ウインカー信号コード（青）の取付け

回路図の番号④

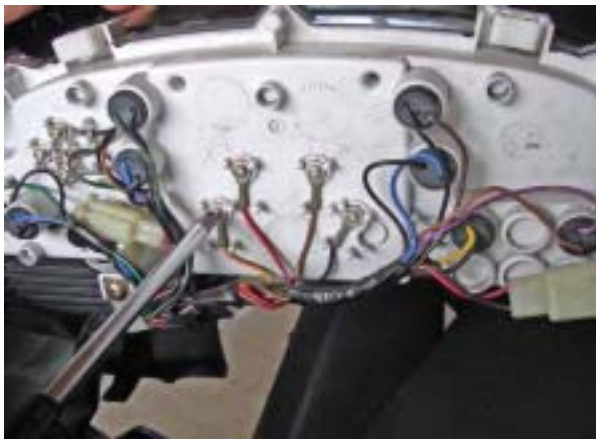
① 写真のハンドルからきている三つのカプラの内、真ん中のカプラがウインカー関係になっています。3本のコードの内、真ん中の茶色に白線の入ったコードにウインカー信号コード（青）を接続します。

② 写真のように付属のコード挟み込み接続部品を使い、接続します。

12. スピードパルス信号コード（白）の取付け

回路図の番号⑤

① スピードパルスコード（白）はメーターパネル裏側のターミナルから信号を取り出します。
メーターパネル裏側の黄色に赤線の入っているコードが出ているターミナルがスピードパルスのターミナルです。（写真のドライバーが刺さっているところ）このターミナルに電源コードを接続したときと同じ要領でツーリングモニタのスピードパルスコード（白）を接続してください。電源コード接続の2枚目の写真が接続後の様子ですので参考にしてください。



１３．モード切替コード（茶・緑）の取付け

回路図の番号⑥

① モード切替スイッチはセルスターターボタンを兼用します。ハンドルからきている三つのカプラーの内、写真左側のカプラ内の青に白線の入ったコードがセルスターターコードです。このコードを切り離した間にモード切替スイッチのコードを割り込ませるわけです。

{ご注意}
モード切替コードには極性があり、茶色のコードを車体からくる方に、緑のコードをハンドル側に接続してください。間違えるとセルモーターも回らなくなります。

② 写真のように青に白線の入ったコードをカプラ下側で切り離し、ハンドル側に付属のオスのギボシ、車体側にメスのギボシを取り付けます。
ツーリングモニタの茶色のコードにはオスのギボシが、緑のコードにはメスのギボシがそれぞれ付いていますので、写真のようにそれぞれを接続します。

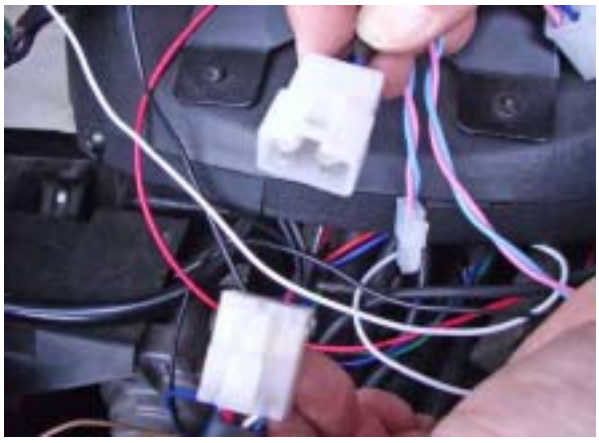
１４．ヘッドライトコントロールコード（桃・水色）の取付け

回路図の番号⑦

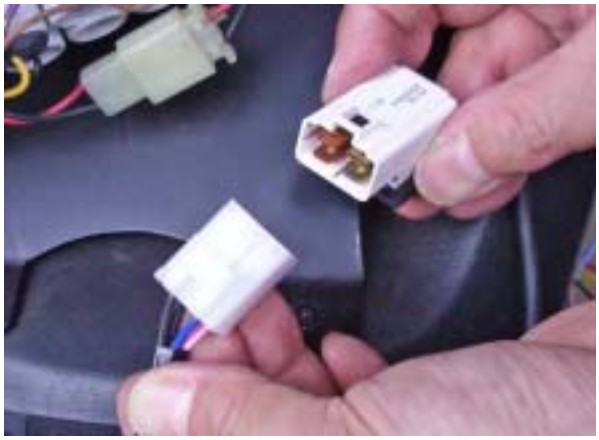
① ヘッドライトコントロールはヘッドライトリレーのコイル側のコードを切り離し、その両側にヘッドライトコントロールコードを割り込ませます。このヘッドライトコントロール廻りの接続はやや複雑なのですが、接続ケーブルが付属しているので簡単になりました。
写真の矢印のリレーがヘッドライトリレーです。場所はヘッドライトの上辺りですが、奥のほうにあるため作業性が悪いです。
ゴムでステーに取付けてあるので、上に引き抜いて外します。

② ヘッドライトリレーをはずしたらカプラー部のボタンを押しながら引き抜いてリレーをはずします。ややかたいです。

③ はずしたリレーのコネクタに写真のように付属のヘッドライトコントロールコード・4Pコネクタ付のオスのコネクタを差し込みます。



④ ③で取り付けたヘッドライトコントロールコード・4Pコネクタ付のもう一方のコネクタに、先ほどはずしたヘッドライトリレーを取り付けます。



⑤　ここまで作業をすると右の写真のようになります。

⑥　次にヘッドライトコントロール非常点灯用スイッチを取り付けます。
　ヘッドライトコントロールコード・4Pコネクタ付から出ている2Pコネクタの短いコードのほうに、付属のヘッドライトコントロール非常点灯スイッチのコネクタを接続します。スイッチは写真のようにハンドルの根元左側の穴から下のボックスに下ろします。
　スイッチは写真のように両面テープを用いてボックス内に固定します。両面テープは厚めのものを使うか、2枚重ねにすると具合が良いです。

〔非常点灯スイッチとは〕
　仮にヘッドライトコントロール装置が故障するとヘッドライトが点灯しなくなることが予想されます。そのような事態に対処するために、ヘッドライトコントロールコードの桃色と水色のコードを短絡させヘッドライトが常時点灯するようにしたスイッチです。〔回路図の非常点灯用スイッチを参照してください〕故障した場合は、このスイッチをオンにすることによりヘッドライトが標準の仕様と同じ点灯状態になります。

⑦　ヘッドライトリレーを元の場所に戻します。これもなかなか狭くて大変ですが、何とかできますのでがんばってください。

１５．コントラストの調整

電源･アースの２Ｐコネクター、各信号線の６Ｐコネクター、ヘッドライトコントロールの２Ｐコネクター、温度センサーの３Ｐコネクター、そして、表示器の１０Ｐコネクターを接続し、もう一度配線をチェックしてから電源を入れてください。配線が正常に結線されていれば、メッセージの後ツーリングモニターの画面が現れると思います。

コントラストは出荷前に調整していますが、見にくい場合は基板の中にある半固定抵抗(写真の矢印)を小さいドライバーでまわして調整してください。

取付けに関しわからないところがありましたら
norikey@hotmail.com
までご連絡ください。